

夢はあきらめずに 女性としてできることを

農家民宿
「野花の咲く宿わかばやし」
若林 文子さん(頓原)

若林さんは創作山菜料理と季節の野花でおもてなしをしておられます。ほとんどのお客様さんがリピーターで、心のこもった料理と女将さんとの会話を楽しみに訪れます。



若林さん

民宿を始めたきっかけは

J Aを退職してから、同僚だった加瀬部末子さんと二人で女性起業家のチャレンジ塾を受講するため、松江に通ったんですよ。そこで夢をもちつて、

宿をやってみたいと思うようになったの。
たまたま「琴引荘」の運営に応募したら、私たちが運営することになったの。
福祉施設の計画が持ち上がり、解散することになったけれど、夢をあきらめずに、加瀬部さんは「南天」をはじめられて、私は主人と二人で家を建て替えて、民宿を始めたの。

民宿をして良かったことは

私は、畑あり田んぼありだから遠くへ出かけることができなくていいよ。だからここへ来てお話を聞かせてもらえることが楽しいですね。
リピーターさんが多いから、今度はどんな料理を食べてもおおうか考えるのがとても楽しいの。

ついでにがんばる理由

料理を盛り付けるとき、季節の葉っぱの上に乗せたりするので、山へ採りに行くんです。以前は主人が採りに行ってくれたのに、今は私が採って来なければいけないので家の近くへ植えているの。
花は買いません。季節の野の

花を採ってきて添えるようにしています。

これから始める人に 伝えておきたいこと

年金をもらうような人が、もう少し使えるお金を上乗せ位の気持ちで、たとえば修学旅行を何軒かで受け入れるとかやってみられたらいいと思うの。
皆さんが気楽に取り組めるように、世話をする人がおられないと、直ぐにでもできるんじゃないかしら。頼まれたら、これくらいのことならしてあげると言うの。手配なんかの世話をする人を作ることが大事なのよ。
大分県宇佐市安心院(あじむ)町にある民宿などはそうしてうまくやって居られるわよ。
農家の収入が減っているから女性の働く場所、歳をとってもできる仕事があるといいですよ。



農家民宿「野花の咲く宿わかばやし」

今月の 表紙写真



奥真木浄水場から山沿いに登ると、瀧谷明神とある石造りの鳥居が見えます。そこからさらに半キロ登ると、ブナ林の中にある3本の大杉が囲むように佇んでいる祠があります。この大滝神社は、集落の30軒余が今でも順番で当屋を務め、毎年9月に盛大なお祭が行われています。高さ22mの大滝が、黒い岩肌純白の水しぶきを生んで流れ落ちていきます。瀧と野鳥のハーモニーが染み入る中、気がつくとも手を合わせていました。

編集後記

非常に残念です！

3月の議会広報で、赤名小学校の大規模改修工事の予算計上をお知らせしていました。

交付金の全額採択は見送られようとしていたことから、当初の議会運営委員会の説明では、大規模改修予算の全額が減額される予定でした。
ところが6月5日になり、約400万円の交付決定が明らかになったことから、急遽バリアフリー化工事(スロープの設置など)を行うこととなりました。

私たちは数年前から、体育館の天井部分への結露により床板が損なわれ、児童の負傷、生命の危険にもつながるとの判断から、早期に改修するよう求めていました。一番大事な改修と想っていたところが手つかずになる結果となりました。

保護者の皆さんや学校関係者、とりわけ児童の期待を大きく裏切る結果になり残念至極です。教育長ほか予算計上に携わった者の責任は重大といわなければなりません。予算計上は確実性と責任を持って行われなければなりません。

なんとしても、当初の目的が果たせるよう努力を求めています。

全国の学校大規模改修で、採択されなかった予算は600億円とも聞いており、貧弱な国の教育予算にも一因があります。十分な予算が確保されるよう議会としても努力しなくてはなりません。

議会広報編集委員会 伊藤 好晴